

第3回 茨城港カーボンニュートラルポート(CNP)形成計画作成ワーキンググループ

議事概要

会議概要

日時：令和3年9月29日（火）13:30～14:30

開催形式：Web 会議

議事内容

○事務局から、茨城港におけるCNP形成イメージ案（2050年の将来像）を含む「茨城港CNP形成計画（原案）」を提示し、構成員から了承を得た。

○各企業におけるご意見等

- ・非化石電源や再エネの外部供給でカーボンニュートラル（CN）に取り組んでいる。再エネの活用にあたり、茨城県内は電力供給するための系統増強の検討が必要。
- ・合成メタン製造の試験設備を建設中であり、来年から試験研究に取り組む。既存インフラを活用して供給のハードルを克服していきたい。
- ・2050年のイメージ図の取組では脱炭素がメインとなっているが、直近の2030年を見据えて低炭素化の取組も必要。
- ・車両や荷役機械のFC化に取り組んでいく。施設整備等の財政的支援や先進事例の情報提供をお願いしたい。
- ・発電の脱炭素化は技術開発途上のため2030年の目標達成は難しいが、支援を受けながら水素利用のサプライチェーン構築等も含め取り組みたい。
- ・個社での取組には限界があるためCNP-WGを通じて地域企業等と協力した取組が必要。
- ・国内外での荷役機械の水素混焼駆動等の技術開発の進捗に合わせて脱炭素化に取り組みたい。
- ・公共ターミナルのCNターミナル化に取り組んでいきたい。なるべく早い取り組みができるよう県・国の支援について検討いただきたい。
- ・市の施策の中にも、CNという要素を取り込んでいきたい。

以上